

昭和町における 部活動の地域展開への取組

～昭和町らしい・昭和町にふさわしい展開を目指して～



昭和町立押原中学校PTA

昭和町における 部活動の地域展開への取組

～昭和町らしい・昭和町にふさわしい展開を目指して～

本日の内容

1. 昭和町（昭和町立押原中学校）の紹介
2. 昭和町の考え（大事にしていること）・取組
3. 生徒・保護者・学校の受け止め
4. 昭和町地域展開のこれから

1. 昭和町の紹介



山梨県ほぼ中央に位置 面積9.08km²

甲府昭和IC（中央道）

大型工業団地・大型ショッピングセンター・交通の結節点

人口 21,436人 世帯9,912戸

人口構成 20代後半から40代前半と
その子ども世代の年齢層が増えている

人口も増加傾向 生徒数も増加傾向



昭和町立押原中学校

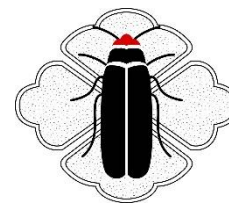
est. 1947

参考

小学校 3 校

生徒数 6 5 0 人 教員数 6 2 名

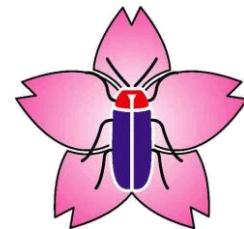
クラス数	1 学年	6 クラス
	2 学年	7 クラス
	3 学年	6 クラス



押原小学校



西条小学校



常永小学校



昭和町立押原中学校

部活動数 運動部 16部 文化部 3部

運動部

- ・バスケットボール（男子）
- ・バスケットボール（女子）
- ・卓球（男子）
- ・卓球（女子）
- ・バレーボール（女子）
- ・バレーボール（男子）
- ・サッカー
- ・野球
- ・陸上
- ・ソフトボール
- ・ソフトテニス（男子）
- ・ソフトテニス（女子）
- ・剣道、空手、水泳、硬式テニス、バドミントン（特設部）

文化部

- ・吹奏楽部
- ・自然科学部
- ・美術部

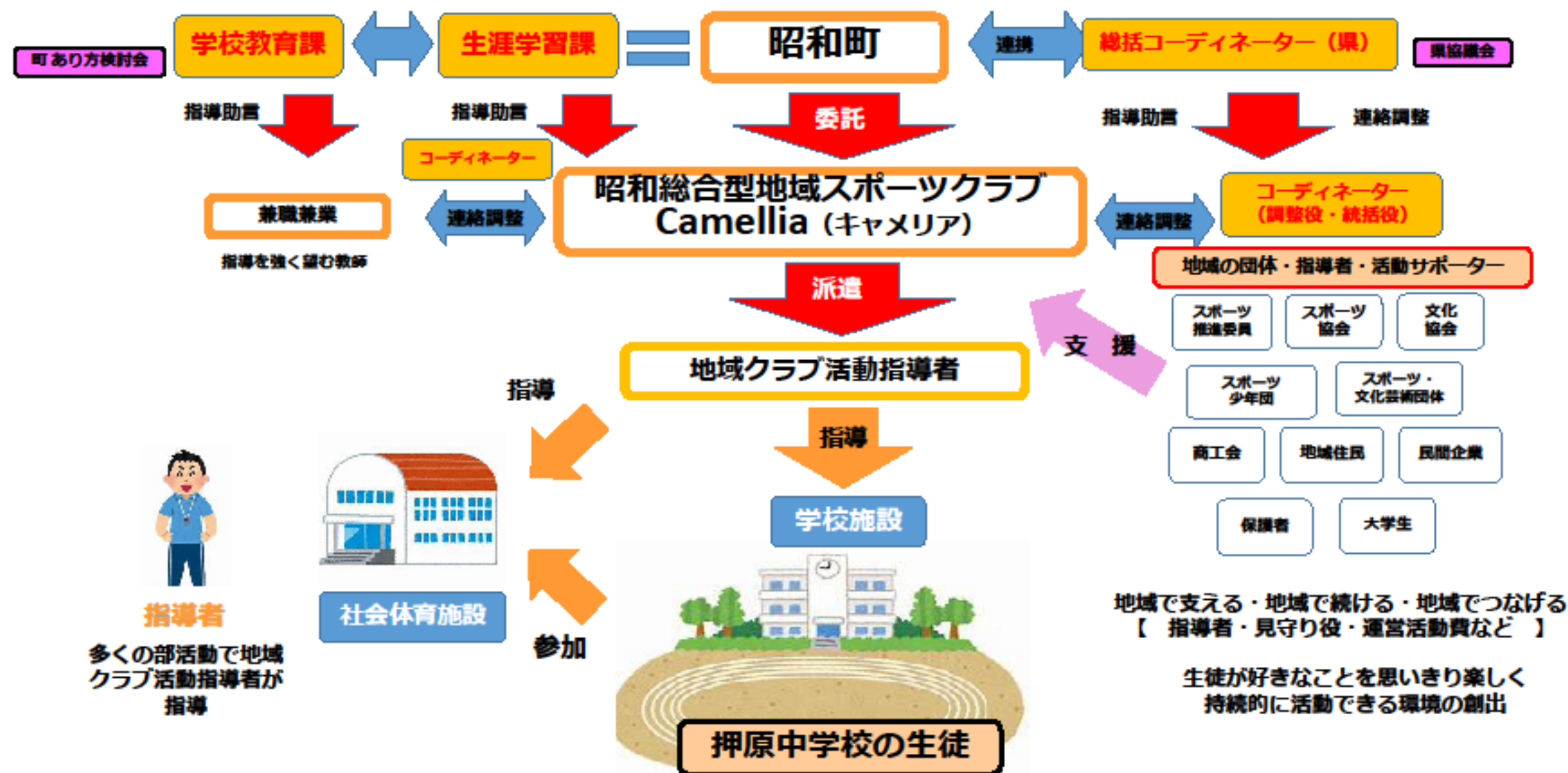
校外活動部

ダンス部（R6.4～）
なぎなた部（R7.4～）
（地域クラブ活動）

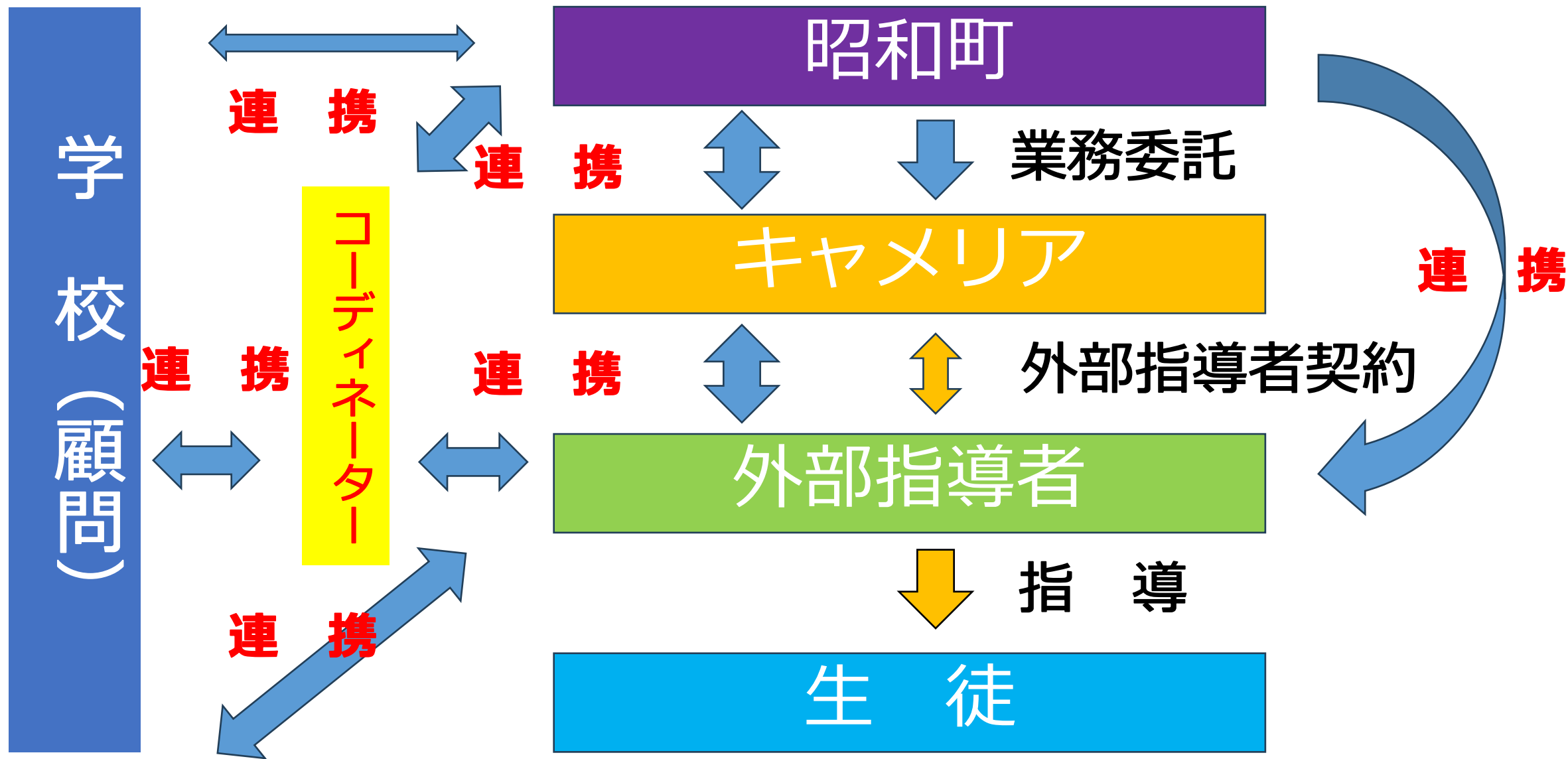
2. 昭和町の考え方（大事にしていること）・取組

1. 子どもたちの取り組んでいる好きな活動をより思いきり、好きなことを楽しむ環境を地域で担える体制づくりを目指す
2. 移行が可能な活動から試行的に移行を目指す
3. 学校現場で負担感・課題感を抱えている部分を試行的に移行をはかりながら、課題解決を目指す
4. 学校・行政・地域がそれぞれ主体的・能動的に協働し、取組むことを目指す

昭和町 地域クラブ活動への移行に向けたイメージ図



● 運営・実施体制図（既存の部活動を地域クラブ活動へ地域展開実証）



令和４年７月 部活動地域移行に向けた検討会（準備会）開催

令和４年８月 第１回地域部活動制度あり方検討会開催
（以後、第３回まで開催）

地域移行の地域の受け皿として昭和総合型地域スポーツクラブ・
カメラリアがふさわしいと答申（第１回検討会）

令和５年３月 カメラリアに国・県及び町取組状況及び地域移行
事業業務委託について説明及び承諾。（令和５年４月より業務委託開始）



設立 平成２１年（２００９） ２０２５年で１６年目

昭和町・ヴァンフォーレ甲府・山梨県サッカー協会の三者協働にて設立
キッズからシニア世代まで子どもスポーツ教室（サッカー・レディースサッカー・バスケ）、グラウンドゴルフ大会、
ラジオ体操、ウォーキング教室、介護予防運動、学校体育授業（運動能力向上プログラム）、放課後時間活用プログラム
（元気アップひろば）、英会話教室、町社会体育施設管理業務委託、町立温水プール教室業務委託など多世代が多種
目を通じてスポーツ・文化活動を生涯に渡り、楽しむことができる、地域振興や持続的なコミュニティの構築に寄与
することを目的に活動。令和６年６月に一般社団法人格取得

令和6年度 活動実績

POINT !

学校現場から指導者への負担の付け替えにならないように。
指導者の負担にならない様に複数名によるグループ化を目指す

【運動部】

女子バスケットボール部	2名	(大学生指導者)
男子卓球部	5名	(町スポーツ協会卓球部＋女子卓球部部活動指導員)
女子卓球部	5名	(//)
陸上部	3名	(大学生指導者)
男子ソフトテニス部	1団体	(県ソフトテニス連盟所属クラブ 善笑クラブ)
女子ソフトテニス部	1団体	(//)
男子バレーボール部	2～4名	(山梨大学学生指導者 山梨県連携) (R7. 2月～)
女子バレーボール部	2～4名	(//) (R7. 2月～)
ダンス部	3名	(ヒップホップダンス・ブレイクダンス指導者) 地域クラブ活動 (カメラリア直営)

【文化部】

自然科学部	1名・1団体	(CMクリエイター・写真家)・(町源氏木タル愛護会)
美術部	1名	(町内在住教員免許保持者) (R7. 4～地域クラブ部へ移行予定)

運動部 9部 文化部 2部 (3部中)

外部指導者導入実績 32名

令和7年1月末現在

昭和町地域展開の歩み

令和4年7月14日 部活動地域移行に向けた検討会（準備会）開催

令和4年8月27日 第1回地域部活動制度あり方検討会

令和5年5月 令和5年度地域スポーツクラブ体制整備事業（国実証事業）申請
（以後、毎年申請）

令和5年6月1日 山梨県と昭和町実証事業委託契約締結（以後、毎年締結）

令和5年6月21日 部活動正副顧問向けアンケート説明会

令和5年8月1日 第2回地域部活動制度あり方検討会

令和6年1月25日 第3回地域部活動制度あり方検討会

令和6年1月 3種目4部（男女ソフトテニス・男子卓球・陸上）導入開始

令和6年4月 中学校・スポーツ協会・文化協会・PTAなど各種団体の総会等に参加し、取組
状況の説明など周知活動

令和6年4月 地域クラブ活動「ダンス部」創設
（令和5年度～ 体験会を中心として活動）

令和6年4月 中学校・スポーツ協会・文化協会・PTAなど各種団体の総会等に参加し、取組
状況の説明など周知活動

令和6年5～6月 実施主体の法人格取得（体制強化）

令和6年6月 令和6年度から着任された教諭（顧問）面談

令和6年6月 自然科学部 ホタル飼育について打合せ（地域で担う形の検証）

令和6年8月 美術部 今後の活動について打合せ

令和6年8～9月 自然科学部（外部指導者導入開始）

令和6年11月 美術部 今後の活動について（内容及び活動場所の確認）

令和6年11月 女子バスケット部（外部指導者導入開始）

令和6年11月 女子卓球部（外部指導者導入開始）

令和6年12月 地域クラブ活動「なぎなた部」実証開始

令和6年12月 自然科学部 ホタル育成プロジェクト開始（中学校・小学校・地域連携活動
開始）

令和6年12月 美術部 顧問・外部指導者打合せ（現在の方針と今後の方針の確認）

令和6年12月 外部指導者・顧問意見交換会

令和7年1月 男子バレーボール部（外部指導者導入開始）

令和7年1月 美術部（外部指導者導入開始）

令和7年2月 第1回「地域で考える！部活動の地域展開と昭和町の新たな形づくり」ワークショップ
開催

令和7年2月28日 第4回部活動地域移行あり方検討会開催

令和7年4月 地域クラブ活動「ダンス部」創部

令和7年4月16日 ホタル放流式（自然科学部・実験部）（押小ビオトープ）

令和7年4月16日 ビオトープ蚊帳掛け（押小ビオトープ）（ホタル愛護会協働）

令和7年5月17日 部活動・地域クラブ活動指導者研修会（コンプライアンス研修）

令和7年6月14日 地域展開活動の様子取材受け入れ

令和7年6月21日 地域展開第2回ワークショップ（地域で考える成長期の子どもサポート）

令和7年7月 7日 美術部作品展示（町内金融機関ロビー）～7月末まで

令和7年9月 ふるさと納税開始（押中生の青春を全力で応援する事業～地域クラブ活動支援
～）

3. 生徒・保護者・学校の受け止め

- ・地域移行に対して町の取組方針について・・・
知っている 76% 知らない24%

- ・外部指導者の指導を受けて・・・（複数回答可）

より楽しさを感じた	20%
技能向上を感じる	20%
新しい考え方を学んだ	28%
好奇心が湧いた（やる気がでた）	10%

- ・今後のクラブ活動を通じて得たいことは？（複数回答可）

自信	13%
技能向上	19%
新しくチャレンジすることの発見	10%
楽しみたい	14%
仲間との交流	21%

- ・今後やってみたい活動は？（複数回答可）

サッカー（女子）・茶道・レクリエーション活動・スキー・手芸・折り紙・写真・料理・金融の勉強など

令和7年1月実施 A=97

生徒の声

・専門的な指導が受けられるようになって、楽しい。

・指導者が複数になったので、細かく声掛けしてもらえる。

・活動が楽しくなって、学校に行くのが、楽しくなった。

・今までにない種目にチャレンジでき、うれしい など

3. 生徒・保護者・学校の受け止め



保護者の声

- ・ 家庭で活動が楽しいという声が多く聞かれるようになった
- ・ ワークショップで子どもたちの「こうありたい」「やりたい」という本気の声が聞けた
- ・

【第1回「地域で考える！部活動の地域展開と昭和町の新たな形づくり」ワークショップの様子（令和7年2月）

3. 生徒・保護者・学校の受け止め

- ・地域移行に対して町の取組方針について・・・
 - 知っている（生徒・保護者・外部指導者に説明できる）
70%
 - 知っている（説明は難しいが、知っている）
30%
 - 知らない
0%
- ・地域展開に伴い部活動に関わる時間が...（複数回答可）
 - 年度で10時間以上削減した 9%
 - 年度で10時間未満削減した 17%
 - 変わらない 74%
- ・地域展開を進める上での課題（複数回答）
 - 外部指導者の確保
 - 顧問が負っている業務（責任）を外部指導者も負担を感じることがより少なくなるように移行するための制度の確立と明確化
 - 大会の在り方の改革（運営方法も含めて）
 - 単独自治体ではなく、近隣自治体との連携（合同部の設立）

学校の声

- ・技術指導を行う必要がなく負担が軽減された
- ・部活動以外の学校業務に時間を充てることができるようになった
- ・外部指導者との連携で技術指導以外で部員（生徒）と接する時間が生まれた
- ・家庭やプライベートの時間を確保できるようになった 等

実施主体の体制強化（日常の事務執行・リスク管理などへの対応）
（今ある「できる」を地域展開、新しい「やりたい」の創出の持続的運営）

具体的なロードマップの作成（実証事業から次のステップへ）

持続的な活動を支えることができる体制づくり（自立的収支構造の構築）
（活動資金の獲得 受益者負担の検討）

外部指導者（地域指導者）の確保・育成（保護者や地域の思い込みの転換）

子ども・外部指導者・保護者・地域が安心して活動できる体制づくり など

子ども・外部指導者・保護者・地域が安心して活動できる体制づくり など



そのために・・・

新しい・多様なアイデアのひらめき・気づき

新しいつながり・つながりの強化

（指導される側から指導者へ地域での循環・活性化）

地域展開を通じて、多世代・多背景のみんなの連携

地域全体で他人ごとから自分ごとへ（観の大転換）



～昭和町らしい・昭和町にふさわしい地域展開を目指して～

昭和町の「最適解」をその時々「最適解」を地域全体で
歩きながら、走りながら考えて進んでいきたい

4. 昭和町地域展開のこれから（ロードマップ）

令和4年度

令和5年度

令和6年度

令和7年度

令和8年度以降

【昭和町取組方針 理念】

- ☆生徒が取り組んでいる活動を好きなように、思いきり活動できる体制を地域で担える形を目指す
- ☆移行可能な部活動から試行的に移行を目指す。
- ☆学校現場で負担や課題感を抱えている部分を移行を行いながら、解決を目指す。
- ☆学校、行政、総合型地域SC「キャメリア」が主体的、能動的に協働し、取り組む。

関係者との情報共有・対話

事業計画 → 事業実施 → 事業検証 → 課題解決・改善 のサイクル化

部活動地域移行あり方検討会（昭和町らしい・ふさわしい取組の明確化）

生徒 保護者 地域 関係団体への制度の周知・町の取組方針の共有

運営主体・実施主体の体制整備・強化（「支える」の中心としての体制づくり）

外部指導者のマッチング・移行（休日及び平日）（質・量・コミュニケーションの確保）

さらなる地域クラブ活動の創設検討・創設

活動運営財源確保の検討（スポンサード・CF・受益者負担）



ご清聴ありがとうございました